

## 幼稚園を対象とした子育て支援システム 「インターネットおたより」

駒込 恭子<sup>†</sup> 岡本 東<sup>†</sup> 堀川 三好<sup>†</sup> 井上 孝之<sup>‡</sup> 菅原 光政<sup>†</sup>

岩手県立大学ソフトウェア情報学部<sup>†</sup>  
岩手県立大学社会福祉学部<sup>‡</sup>

### 1. はじめに

本研究では、幼稚園を対象にインターネットを利用した配信システム「インターネットおたより」を構築し、保護者間及び幼稚園とのコミュニケーションの円滑化を図る。幼稚園教諭は保育時間中に事務処理を行う時間の確保が困難であり、特に、保護者との連絡手段であるおたよりや連絡帳の作成には時間と労力が必要となる。このため、本システムでは、幼稚園で既に利用しているインターネット環境と保護者に広く普及している携帯電話及び PC を活用し、必要な時に必要な相手に対して必要な情報を効率良く提供できるようにする。さらに、緊急連絡に対しても、メールを利用して一斉配信することで、即時的に連絡を可能とする。

### 2. 対象幼稚園の現状

#### 2.1. 対象幼稚園について

本システムの導入対象である学校法人内丸学園盛岡幼稚園では、岩手県の認定こども園のモデル事業として、現在 1 歳～5 歳までの園児約 100 名を保育している。通常の保育の他に、保育時間を延長して園児を預かる預かり保育や、未就園の子どもを対象とした子育て支援サークルも実施している。

#### 2.2. 幼稚園と保護者の連絡手段

幼稚園と保護者の連絡手段には、幼稚園発行の園だより・学年だより・クラスだより及び個別の連絡帳がある。各種おたよりは月に 1 回発行しており、作成方法は業者印刷、DTP、手書きと様々である。また連絡帳は個別に連絡がある時のみ記入しており、ほとんどが手書きで行われている。

### 2.3. アンケートの実施

2006 年 6 月、現在幼稚園に通っている園児の保護者を対象に、本システムのニーズと保護者の情報環境を把握するためアンケートを実施した。配布 95 部、回収 47 部、回収率 49.5% である。アンケート結果の一部を表 1 にまとめる。

表 1：アンケート結果 (2006 年 6 月)

	所持率	メール利用率	インターネット利用率
PC	91.5%	48.9%	91.5%
携帯電話	93.6%	91.5%	55.3%

ほとんどの保護者が携帯電話や PC でメールやインターネットを利用している。また、携帯電話ではメールを利用し、PC では HP を閲覧する傾向がある。よって、携帯電話のメール機能と、PC から HP を閲覧できる機能の両方を用意し、即時性の高いものと画像等の容量の大きいコンテンツの配信で使い分ける必要があると考えた。

### 3. システムの概要

#### 3.1. システムの機能

本システムは、グループウェア<sup>1)</sup>の考えを取り入れたシステムであり、Web を利用して複数の教諭によるおたより作成の共同作業を支援し、保護者へおたよりを配信する。これを実現するため、本システムは主に以下の 3 つの機能を備えている。

##### (1) おたより管理

おたよりの作成、公開、配信管理などを行う。

##### (2) 利用者情報管理

システムを利用する方の情報を管理する。本システムでは管理者、保育者、保護者の 3 つの権限があり、それぞれの権限を持つ利用者を管理する。

##### (3) スケジュール管理

園内行事をカレンダーにより管理する。

#### 3.2. 配信内容

本システムで配信する内容は、園全体からの連絡、各クラスからの連絡及び行事予定の 3 項目とした。これらの項目はアンケート結果と園の要望を考慮し決定した。園全体からの連絡では、園運営全体に関わる連絡事項を掲載してい

“The Internet Newsletter”: Children Care Support System for kindergarten

<sup>†</sup>Kyoko Komagome, Azuma Okamoto, Mitsuyoshi Horikawa, Mitsumasa Sugawara

<sup>‡</sup>Takayuki Inoue

<sup>†</sup>Faculty of Software and Information Science, Iwate Prefectural University

<sup>‡</sup>Faculty of Social Welfare, Iwate Prefectural University

る。各クラスからの連絡では、各クラスの園児の様子や連絡事項などを掲載している。行事予定では、おたより発行日以降 2 週間分の行事予定を掲載している。

### 3.3. Web おたよりとメールおたより

本システムでは、配信内容に関して Web で閲覧できる Web おたよりと、Web おたよりを要約したものをメールで配信するメールおたよりの 2 つを提供している。発行するおたよりの種類は 3 種類で、定期的に発行される「定期おたより」、諸連絡の際に発行される「連絡おたより」、緊急連絡の際に発行される「緊急おたより」がある。図 1 にインターネットおたより配信の流れを示す。

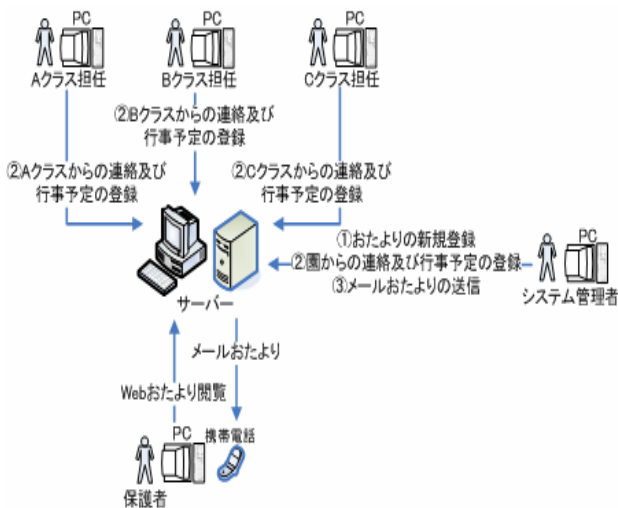


図 1 インターネットおたより配信の流れ

### 3.4. 開発環境

開発に用いた環境を表 2 に示す。プログラミング言語は Java (JSP) を用いている。

表 2 開発環境

	運用環境	開発環境
WWWサーバ	Apache2.0.59 Tomcat5.5.17	NetBeans5.0
RDB	MySQL5.0.22	MySQL5.0.20a
CPU	Intel Pentium 4 3.0GHz	Intel Pentium D 3.2GHz
OS	NetBSD-3.0.1 (i386)	Microsoft Windows XP

## 4. 導入

2006 年 11 月 9 日にシステムを運用開始し、翌日 10 日に定期おたより第 1 号を配信した。運用開始当初の利用者登録数は管理者及び保育者 10 名、保護者 31 名の計 41 名で、初回のメール送信件数は 49 件である。その後 2 週間に 1 度定期おたよりを継続的に配信している。また、連絡おたより、緊急おたよりは必要性がある時に配信している。

現時点 (2006 年 12 月末) での利用者数は管理

者及び保育者 11 名、保護者 43 名の計 54 名である。

### 4.1. 実行画面

図 2 に園から発行されたおたよりの閲覧画面を示す。Web ページでは、各クラスからの連絡の他に画像も表示される。

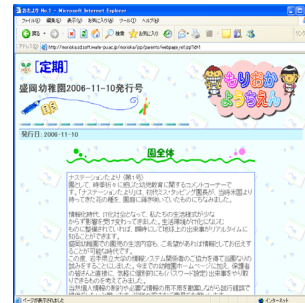


図 2 Web ページ閲覧画面

図 3 には、Web おたよりを要約したものをメールで送信したメールおたよりの画面を示す。メールおたよりには、園全体からの連絡、クラスからの連絡及び今後の行事予定が掲載されている。

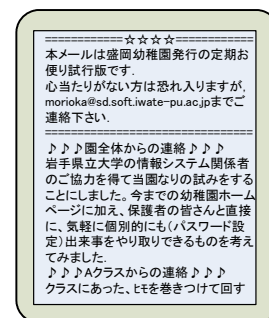


図 3 メールおたより画面

## 5. おわりに

本研究では、「インターネットおたより」のシステムを構築し、実際に幼稚園へ導入して動作検証を行った。Web を用いておたよりの作成から配信を管理することで、複数の教諭による共同作業と保護者へのおたより配信を実現させた。今後は幼稚園全体の業務支援と、幼稚園と保護者とのコミュニケーションツールとしての機能を充実させることを目指す。

## 謝辞

今回の研究にあたり、盛岡幼稚園の坂本洋園長をはじめとするスタッフの皆様には多大なる御助力をいただきました。厚く御礼申し上げます。

## 参考文献

- 1) C. A. Ellis, S. J. Gibbs, and G. L. Rein: Groupware: some issues and experiences, *Communication of ACM*, Vol.34, No.1, pp.39-58 (1991)